

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">小学音楽 音楽のおくりもの</h1>	<div style="text-align: center;">17 教 出</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の題材数が8つにそろえてあるなど、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習活動に取り組める題材構成になっている。</li> <li>○全学年を通した系統性と、各学年の発達段階に配慮して学習活動が配置され、児童が音楽づくりの発想を得たり、音をどのように音楽に構成するか思いを持ったりすることがしやすい構成である。</li> <li>○音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示し、児童がその働きを意識しながら学ぶことができる。(中学年以降はメモ欄がある)</li> <li>○鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入では、各8ページに渡って内容が示され、スモールステップで学習を進める配慮がなされている。</li> <li>○図やイラストで学習内容が視覚的に伝わり、知識や技能が理解しやすい。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び合う音楽」では学び方を例示し、他者と協働した音楽表現や、聴いた音楽の良さを考える等の、言葉によるコミュニケーションを図りながら学ぶことができる。</li> <li>○文字やイラスト、活動例を適切に示しながら児童の「こんな音楽をつくってみたい」という思いや考えを引き出す仕掛けがされている。</li> <li>○思いや意図を持って歌ったり、楽器を演奏したりする契機となるような発問例が示されている。</li> <li>○曲の魅力について、気づきを書きとめたり、意見を交換したりするような学習が設定され、言葉によるコミュニケーションを図る工夫がされている。</li> <li>○身体性を取り入れた活動により、音楽を聴き取る力の育成や、音楽との一体感を味わい、想像力を働かせながら関わる工夫がされ、主体的な鑑賞学習に配慮されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発達段階により、音楽への関わり方が質的に高まっていくような題材設定である。</li> <li>○児童が学んでいることを自覚できるような工夫がなされている。</li> <li>○「学び合う音楽」では学び方を例示し、音楽活動に協働して取り組めるよう工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3音ずつや、既習曲の音階を基にした旋律作り等、音楽作りでもリコーダー技能を活かす工夫がされている。</li> <li>○「まなびナビ」では、子どもたちの見通しをもった学習をサポートしている。</li> <li>○体を動かす活動（どれみたいそう）等の汎用性の高い活動が組み込まれている。</li> </ul>	

	<p>○「まなびリンク」では、リコーダーの運指の確認や、演奏と楽譜のリンクなど、個別最適な学びへの支援が充実し、基礎的な能力の習得を促す配慮がなされている。</p> <p>＜生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○わらべうた、地域の音楽等を取り上げ、音楽文化と豊かに関わる工夫がされている。</p> <p>○音楽作りにつながる「音のスケッチ」で、身に付けた音楽の知識や技能を活かし、自分なりの音楽を作る工夫がされている</p>
資 料	<p>○鍵盤の写真資料の大きさが実物大で学習しやすい。</p> <p>○巻末の「音楽の言葉」が、表現や鑑賞のイメージを言語化し共有する事に役立つ。</p> <p>○共通教材の写真が大きく曲のイメージが持ちやすい。</p> <p>○「思いだそう」により学びの継続ができ、既習事項のふりかえりもしやすい。</p>
表記・表現	<p>○発達段階に応じた楽譜が用意され、豊富な写真とイラストで工夫されている</p> <p>○記号や用語は題材の中でわかりやすく示され巻末にも一覧ページが用意されている。</p> <p>○学習のめあてが学習内容に即して、わかりやすく標記されている。(色を変える等)</p>
総 括	<p>○歌唱共通教材には、歌詞から想像される情景のイメージや雰囲気伝わる写真や資料が掲載され、曲想にあった表現を工夫する手立てが講じられている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントなど、特別支援教育の視点に立った配慮がなされ、個別最適な学びに適した紙面構成で、主体的な学習を促す工夫がされている。</p>

書名 項目	<h1>小学生の音楽</h1>	27 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 芸</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容の系統配列がよく、発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら、学習を積み重ねる工夫がなされている。(学習の目標や具体的な活動例、資料が多く掲載されている)</li> <li>○主題による題材構成で音楽に関する汎用的な力が身につくよう配慮されている。</li> <li>○図形の楽譜等、音程の高低を視覚化する工夫がされ、表現の技能や読譜の学習に活かす工夫がされている。</li> <li>○学習のねらいや活動の手立てが明確に示されており、児童が主体的に「音楽づくり」の学習活動に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が具体的に示されている。</li> <li>○学習した内容が次学年につながる題材構成になっている。</li> <li>○対話的な学びを促す吹き出しや、直接書き込みができる構成により、友達との思いを交流するなど、児童同士の言語活動の充実を図り学習のねらいを達成できる工夫がされている。</li> <li>○音楽を聴き取ったり、感じ取ったりしたことをもとに思考し、言葉や音楽で表現できるよう譜例や挿絵を用いた説明が充実している。</li> <li>○鑑賞教材が題材のねらいに即しており、学習内容が明確になっている。授業時間内で複数回鑑賞できるよう、曲の長さも配慮されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学習マップ」や「ふりかえりのページ」によって主体的な学びを促すとともに、学びの振り返りを児童自ら確認できるような工夫がされている。</li> <li>○音楽科での学びを、学校生活や家庭、地域社会での生活にいかすことができるように、生活の中にある様々な音への関心を促す特集が組まれている。</li> <li>○「鑑賞しよう」に多様な形式の曲が掲載され、音楽への興味関心を高めている。</li> <li>○新しく学ぶ楽器が大きく掲載され、児童の関心を高める工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏技能について、発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。</li> <li>○「学習マップ」や「ふりかえりのページ」により、学習の見通しを持ち、基礎的・基本的な学力の定着をはかれるように配慮されている。</li> <li>○常時活動の活用ページにより、日常的に拍子感、リズム感が醸成される。</li> </ul>	

	<p>○ QR コードにより、児童一人一人の端末で学習をサポートするコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びの一助となっている。</p> <p>＜生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○身の回りで見つけた音を音楽作りに取り入れたり、コラムに取り上げたりすることにより、授業での学びを自分の生活と関連させられるような工夫がされている。</p> <p>○口絵やQRコードによって、児童が自ら音楽と社会の関わりについて考えるきっかけや、関心を高める工夫がされている。</p>
資 料	<p>○活動の様子の写真資料に適切な説明があり、児童の主体的な学習に活かせる。</p> <p>○巻末の「ふりかえりのページ」が見やすくまとめられており、音楽を形作っている要素を確認しやすい。</p> <p>○巻末の楽典に学習学年が掲載され、6年間を見通した振り返りや確認ができる。</p> <p>○「日本の古典芸能」に、年表も掲載されており社会科等の学習とリンクしやすい。</p>
表記・表現	<p>○発達段階に応じた楽譜が用意され、多様な音楽活動ができるように記載されている</p> <p>○記号や用語についての説明が精選され、リコーダーの運指表と合わせて一括して巻末に見開きで示されている。既習事項やページが色分けされていてわかりやすい</p> <p>○各題材の学習のねらいとまとめが標記され学習内容の意図がはっきりしている。</p>
総 括	<p>○学びの見える化により、教師も児童も「何を学ぶか」が明確になると共に、ふりかえりページの充実で「何ができるようになったか」が確認できる構成となっている。</p> <p>○学年の成長に合わせて展開されている常時活動が充実している。(リズムに親しむ活動、鍵盤ハーモニカでの階名当て遊び、リコーダーでのまねっこ遊び等)</p>